


[M45] 指定番号や番号非通知の着信を拒否する

登録した指定の番号や番号非通知、また公衆電話からの電話などを着信拒否することができます。

例 指定番号拒否 / ONメッセージあり / 着信履歴保存 ON を設定する

1 M 4 GH た 5 JKL な

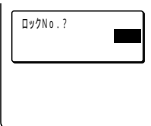


現在の設定が表示されます。

ON : 設定する
OFF : 設定を解除する

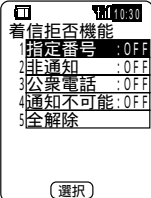
設定

2 「ON」を選び 設定



ロック No. (32 ページ) 入力画面が表示されます。

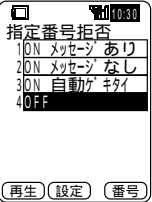
3 ロック No. (4 桁) を入力する



現在の設定内容が表示されます。

選択

4 拒否を設定する項目を選び 選択




(再生) : 拒否メッセージの内容を確認する (再生1、再生2) も同様) 再生が終了するか、戻る または バック を押すと、もとの画面に戻ります。

(番号) : 着信拒否したい指定の電話番号を登録します。(277 ページ)

再生 設定 番号

「通知不可能拒否」の設定は、「ON」か「OFF」を選択して、操作が完了します。

5 項目を選び 設定



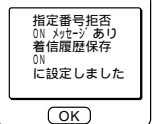
着信履歴保存の選択画面が表示されます。

ON : 着信履歴に残す
OFF : 残さない

「非通知拒否」「公衆電話拒否」の設定の場合は、操作が完了します。

設定

6 「ON」または「OFF」を選び 設定



手順 4 で選択した着信拒否が設定されます。

手順 4 ~ 5 を繰り返して各項目を設定してください。

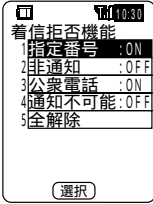
OK

全解除

1

275 ページ手順 2 の画面より
ロック No. (4桁)
を入力する

現在の設定内容が表示されます。



3

「YES」を選び

着信拒否機能
全てOFFに
設定しました

着信拒否機能を全てOFFに設定しました。

ご注意

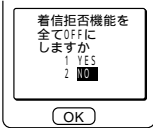
指定の電話番号が登録されていない場合は、「指定番号拒否」を設定することができません。

本機能は割込通話サービス(457ページ)には対応していないため、通話中に電話がかかってくるとすべて着信します。

2

「全解除」を選び

YES : 個別の設定を一括でOFF
に変更する
NO : 変更しない



お知らせ

指定番号拒否を「メッセージなし」に設定したときは、着信拒否中はメッセージを流さずに、着信時に「拒否」を長く(約1秒以上)押したときと同じ動作になります。(52ページ)

指定番号拒否を「自動ゲキタイ」に設定したときは相手の声を送り返します。こちらの声は相手に聞こえません。

拒否設定内容一覧

	項目	応答メッセージ	メッセージ内容
1	指定番号	メッセージあり	この電話番号からの電話はお受けできません
		メッセージなし	—
		自動ゲキタイ	—
2	非通知	応答メッセージ1	この電話番号からの電話はお受けできません
		応答メッセージ2	発信者番号通知がされておりません。電話番号のあたみに186を付けておかけ直してください
3	公衆電話	応答メッセージ1	この電話番号からの電話はお受けできません
		応答メッセージ2	公衆電話からの電話はお受けできません
4	通知不可能	応答メッセージ1	この電話番号からの電話はお受けできません

指定番号着信拒否に設定する 電話番号を登録 / 消去する

1

275 ページ手順 4 の画面から **番号**



登録されている電話番号の一覧が表示されます。

電話番号が未登録の場合、**消去**は表示されません。

戻るを押すと 275 ページ手順 4 の画面が表示され、指定番号拒否の設定をおこなうことができます。

電話番号を登録する

2

登録先 (1 ~ 8) を選び **編集**



例 No.4 の欄に登録する場合

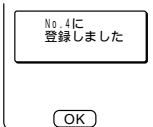
電話番号の入力画面が表示されます。残りの桁数 (最大 36 桁) が分数で表示されます。

すでに入力されている場合は **クリア** を押して消去してから入力します。

JUMP
Sub: アドレス帳 (80 ページ) や発信履歴 (48 ページ)、着信履歴 (53 ページ)、メモ帳 (165 ページ) などから電話番号を呼び出すことができます。

3

電話番号を入力して **OK**



確認画面が表示され、手順 1 と同様の画面に戻ります。

お知らせ

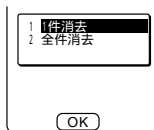
電話番号を入力中に **消去** を押すと、編集内容を消去するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選び **OK** を押すと、編集内容は保存されません。「NO」を選び **OK** を押すと登録画面に戻ります。


電話番号を消去する

例 指定番号を全件消去する

2

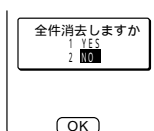
消去



1 件のみ消去するとき、 で消去したい番号を選択しておきます。

3

「全件消去」を選び **OK**

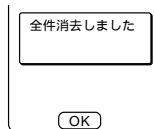


全件消去の確認画面が表示されます。

YES : 消去する
NO : 消去しない

4

「YES」を選び **OK**



電話番号がすべて消去されます。

お知らせ

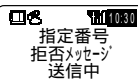
1 件だけ消去するとき、手順 2 の画面で「1 件消去」を選び **OK** を押します。

全件消去をおこなうと指定番号拒否の設定は「OFF」になります。

電話がかかってくると

1

着信中



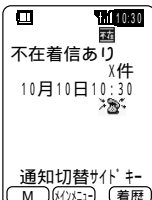
着信拒否の理由が表示され、設定している拒否メッセージが流れます。

指定番号拒否の「メッセージなし」を設定しているときは、電話がかかってくると手順2の画面が表示されます。

「自動ゲキタイ」を設定しているときは、「自動ゲキタイ機能中」と表示されます。

2

拒否メッセージ送信終了



拒否した着信は不在着信として、記録されます。(着歴)を押すと着信履歴が表示されます。(着信履歴保存をOFFに設定している場合は表示されません。)

お知らせ

拒否に設定した電話がかかってくると、あらかじめ設定しておいた拒否メッセージを流した後、自動的に電話を切ります。拒否メッセージが流れている間に電話を受けることはできません。

お留守番サービス(442ページ)もしくは着信転送サービス(452ページ)の無応答転送を設定している場合、指定番号拒否をしても、お留守番サービスもしくは着信転送サービスが優先されます。

着信拒否設定した電話番号からの着信は、着信音・バイブレータ・LEDは作動しません。

設定のON/OFFにかかわらず、CメールやEメールは受信できます。

[M46]機能やメモリ内容を初期設定にする

アドレス帳・発信履歴・着信履歴などのメモリ内容を一度に消去したり、ブラウザ設定や各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。また、アドレス帳の内容をグループごとに消去したり、すべてのメモリと機能を一度にお買い上げ時の状態に戻すこともできます。大切な情報は、消去する前に控えをとってください。



お知らせ

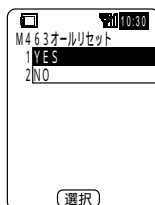
リセットされる項目については280ページからの一覧表をご参照ください。

[M461]すべての機能を初期設定にする [M463]すべてのメモリ・機能を初期設定にする

例 オールリセットを選択した場合

1

M 4 GH た 6 MNO は 3 DEF き



YES : リセットする
NO : リセットしない